

令和5年度交付金事業に係る評価専門委員会の開催結果について

1 開催概要

千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画 第5に規定する交付金事業については、事業実施後に県が効果検証・評価を実施することとされており、学識経験者等の第三者から構成される専門委員会*において、事業年度ごとに評価を実施しています。

令和5年度交付金事業に係る専門委員会は令和6年8月8日に開催し、各事業実施団体から説明を行った上で、委員から評価・助言を頂きました。

※地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業評価専門委員会…交付金事業の効果検証・評価を実施することを目的として、プラットフォーム会議内に令和3年6月に設置。

【委員名簿】

区分	委員	備考
学識経験者	宮本 みち子	放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授
経済団体	高橋 秀穂	一般社団法人千葉県経営者協会専務理事
労働団体	中島 正敏	日本労働組合総連合会千葉県連合会事務局長
行政機関	山本 政好	千葉労働局職業安定部職業安定課長

2 評価対象事業

No.	実施主体		事業名
1	千葉県	(雇用労働課)	ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業
2	船橋市	(商工振興課)	ふなばし地域若者サポートステーション事業
3	松戸市	(商工振興課)	就職氷河期世代キャリア支援プログラム
4	柏市	(産業政策・スタートアップ推進課)	若者(就職氷河期世代)就労自立支援事業
5	流山市	(商工振興課)	就職個別相談「就職氷河期世代支援コース」事業

※各事業の概要及びKPIの達成状況は5を参照。

3 専門委員会における主な意見(要旨)

- ・現状では達成できない目標設定となっているように感じるため、受入れ企業数を増やしたり、間口を広げたりなど、やり方を変える必要があると思う。
- ・精神的な問題を抱えた方が多く、支援が長期化する傾向にある中で、キャリアカウンセラーだけではなく、幅広い支援を行う必要があるのではないかと。
- ・サポートステーションが対象とする就職氷河期世代の方を就職へつなげることは難しく、どのような支援が有効であるかを検討していただきたい。
- ・支援に時間がかかる方が多くなっており、また、国の支援のあり方が変わる来年度からは特に顕著になることが予測されるが、就職氷河期世代の方は依然として支援を必要としており、どのように支援を継続していくかを考えることが大事ではないかと。
- ・ハローワークでは就職氷河期世代の方に特化した求人を探すことなどもできるため、連携しながら事業を実施していただきたい。

4 今後の対応等

専門委員会の各委員からの意見・助言を基に、関係機関との連携をより一層強化し、多様化する就職氷河期世代の課題や適性を考慮した幅広い支援の実現に引き続き努めてまいります。

5 各事業の概要及びKPIの達成状況等

(1) 千葉県実施事業

【事業名】 ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業

【事業概要】 各種プログラム（就職支援講座、企業との交流会等）の実施、一人ひとりのニーズに合わせた就職先の紹介など、きめ細かい就職支援を実施する。併せて、企業への受け入れ体制構築に向けた支援や就職後の定着支援を行う。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度 の増加分累計	令和5年度 増加分
KPI①：本事業新規利用者数 (人)	目標	100	400	400	900	
	実績	130	402	462	994	
KPI②：本事業による就職決定 者数（非正規を含む）(人)	目標	20	200	200	420	
	実績	15	104	228	347	
KPI③：本事業への参加企業数 (社)	目標	20	150	150	320	
	実績	37	165	151	353	
KPI④：本事業による就職決定 者数（非正規を含む）(人)	目標					200
	実績					95
KPI⑤：本事業新規利用者数 (人)	目標					400
	実績					431
KPI⑥：本事業への参加企業 数(社)	目標					150
	実績					157

【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和5年度）】

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

- ・（KPI④）本事業利用者については、心の問題等を抱えた方も多く、支援期間が長期化する傾向にあることや、セミナー参加のみで継続的な支援につながない方もいることなどが考えられる。

【事業の実施状況、その成果等及び第2ステージ終了後（令和7年度以降）の展望】

<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談 576名参加 ・就職支援講座 38回実施、189名参加 ・ワークステップ講座 27回実施、172名参加 ・企業との交流会（合同説明会） 3回実施、162名参加、60社参加 ・企業向けセミナー 6回実施、27社、30名参加 ・職場見学・企業実習 20名、19社参加 ・広報活動実施（市町村、労働局、県出先機関、就労支援施設、職業訓練校、相談機関、JR駅、関係機関に約7,500部チラシ配架、県HPに掲載、県広報X、県内企業にDM及びチラシ配布、千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員との連携・協力による周知など） <p>個別相談や合同企業説明会、各セミナーの開催等については当初の予定どおり事業を実施できたが、心の問題等を抱えた利用者も多く、支援期間が長期化する傾向にあることや、セミナー参加のみで継続的な支援につなげていない方もいる。</p> <p>上記を踏まえ、令和6年度は、キャリアカウンセラーが求職者に寄り添い、信頼関係の構築ができるよう個別相談をより充実させるとともに、セミナー参加のみの方などに対し、相談業務から各種支援プログラム、就職先の紹介、定着支援まで一連の流れとして実施することで、より効果的に就職決定につながるよう努める。</p> <p>令和7年度以降は、令和5年度事業の評価専門委員会での検証を踏まえ、就職氷河期世代への就労支援について検討していく。</p>
--

（2）船橋市実施事業

【事業名】 ふなばし地域若者サポートステーション事業

【事業概要】 「ふなばし地域若者サポートステーション」に、就職氷河期世代を支援するキャリアコンサルタントを配置する。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度 の増加分累計	令和5年度 増加分
KPI①：就職氷河期世代無業者の非正規雇用を含む就職率（新規登録者数に対する就職に至った者数の割合）（%）	目標	35	35	35	35	
	実績	37.5	62.1	82.7	60.8	
KPI④：就業者数（正規雇用、非正規雇用、自営・起業・内職等の人数）（人）	目標					18
	実績					19

※KPI②及び③は設定していない。

【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和5年度）】

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

- ・該当なし

【事業の実施状況及びその成果等及び第2ステージ終了後（令和7年度以降）の展望】

- ・ 合同企業説明会 年2回開催 6名参加
- ・ インテーク面談 初回来所時 37名
- ・ 就労相談 随時開催 132名
- ・ 心理相談 随時開催 12名
- ・ 生活相談 随時開催 147名
- ・ 職業人講話 年24回開催 17名
- ・ 職場見学 年16回開催 7名
- ・ パソコン講座 年44回開催 18名
- ・ 保護者サポート講演会 年2回開催 1名
- ・ 保護者の会 年9回開催 0名（該当年齢に希望者がいなかったため）
- ・ 土曜相談〔氷河期世代対応〕 年19回開催 5名
- ・ 出張個別相談会 年6回開催 1名
- ・ 学び直し支援 年36回開催 0名（該当年齢に希望者がいなかったため）
- ・ イベント・ボランティア活動 年1回開催 0名（該当年齢に希望者がいなかったため）

支援対象者の要望（就労に関する相談だけでなく、メンタルにかかわる相談や生活全般・家庭環境にかかわる相談等）は多岐にわたるが、可能な限り対応をした。

企業側の要望（このような人材がほしい等）にも可能な限り対応し、就労につなげることができた。

令和5年度同様、広報活動に力を入れる。習志野市の出張相談を年間6回から12回に増やす。

サポートステーションで支援をする就職氷河期世代の利用者は、メンタル的に大きな問題等を持っている方などが多いことと、年齢的に雇い入れる企業が減ってきていることで支援が難しい。左記のことから、氷河期世代の就労支援の経験が豊かな専門的なスタッフが必要となる。引き続き、他の補助金を活用することにより、事業継続していきたい。

（3）松戸市実施事業

【事業名】 就職氷河期世代キャリア支援プログラム

【事業概要】 正規雇用を希望する求職者がセミナーや個別相談を通して、就職に必要なスキルを身に付けることができるよう支援を行う。また、セミナー等において培ったスキルを基に正規雇用に繋げるため、市内の企業が参加するマッチングイベントを開催し、双方のミスマッチを解消する。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度の 増加分累計	令和5年度 増加分
KPI①：事業参加者数 (人)	目標	(※令和3年度 から事業実施)	150	150	300	
	実績	—	195	335	530	
KPI②：正規雇用就職者 数(人)	目標	—	30	30	60	
	実績	—	7	31	38	
KPI④：正規雇用就職者 数(人)	目標					30
	実績					14
KPI⑤：事業参加者数 (人)	目標					150
	実績					234

※KPI③は設定していない。

【目標値と実績に乖離^{*}がある場合の主な理由（令和5年度）】

(※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合)

- ・(KPI④) 同エリア内や近隣自治体で連続して事業を実施していること、またそれに伴い就職意欲が高い方が限られてきている可能性があることにより、年々同事業の対象者の掘り起こしが難しくなっている現状が考えられる。

【事業の実施状況及びその成果等及び第2ステージ終了後（令和7年度以降）の展望】

- ・マッチングイベント 年2回開催 参加者計62人 出展企業計29社
- ・就職支援セミナー 年10回開催 参加者計68人
- ・ビジネスPCセミナー 年8回開催 参加者計68人
- ・個別相談件数 36件
- ・正規雇用への就職者数（内定含む） 14名

令和4年度については、年度早々のタイミングで、様々な事業者アプローチ及び関係機関との連携することにより、様々な業種・職種の事業者に出展してもらうことができ、KPIを達成することができた。

令和5年度については前年度に引き続き、様々なSNS、広報媒体で周知を強化し、求職者へのアプローチを実施したが、結果として前年を下回る結果となった。原因としては、同エリア内や近隣自治体で連続して事業を実施していること、またそれに伴い就職意欲が高い方が限られてきている可能性があることにより、年々同事業の対象者の掘り起こしが難しくなっている現状が考えられる。

令和6年度については、新たな広報媒体を増やしつつ、より幅広い周知を図れるようにネット広告などの比重を増やしていく。また合わせて関係機関との協力体制の更なる強化をするとともに、氷河期世代がより目につきやすくなるような広報・周知方法により強化を図っていく。

令和7年度以降の就職氷河期世代の支援は、事業の実施方法・予算規模について検討中。

(4) 柏市実施事業

【事業名】 若者（就職氷河期世代）就労自立支援事業

【事業概要】 「かしわ地域若者サポートステーション」において、就労開拓支援員の増員や就職氷河期世代を対象としたキャリア開発プログラムを実施する。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度 の増加分累計	令和5年度 増加分
KPI①：就職氷河期世代利用者数（新規登録者数）（人）	目標	30	35	40	105	
	実績	20	28	23	71	
KPI②：就職氷河期世代の就職等（非正規雇用, 進学を含む）決定数（人）	目標	15	20	25	60	
	実績	6	16	13	35	
KPI③：就職氷河期世代無業者対象協力企業開拓数（就労および職場体験の受け入れ先企業延べ数）（社）	目標	15	25	30	70	
	実績	66	100	30	196	
KPI④：就職氷河期世代の就職決定者数（正規, 非正規雇用, 自営・起業・内職等の人数）（人）	目標					18
	実績					20
KPI⑤：就職氷河期世代利用者数（新規登録者数）（人）	目標					32
	実績					21
KPI⑥：就職氷河期世代無業者対象協力企業開拓数（就労および職場体験の受け入れ先企業延べ数）（社）	目標					20
	実績					22

【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和5年度）】

（※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合）

- ・（KPI⑤）就職氷河期世代応援セミナーでの集客が伸び悩んだため。また、精神面で大きな困難を抱える方は、サポートステーションに登録せず、福祉機関に紹介していることによる。

【事業の実施状況及びその成果等及び第2ステージ終了後（令和7年度以降）の展望】

- ・かしわサポステ単独合同企業説明会2回(6社4人、2社5人)
- ・事業所見学ツアー(2社×2回、5人)
- ・個別見学(18人)
- ・職場体験(2人)
- ・40歳代向けのセミナー7回(17人)
- ・PC講座(12人×5日)
- ・その他コミュニケーション、メンタルヘルス等の講座(56人)
- ・トレーニング(作業16人、PC79人、事務40人)。

利用者の感想および成果：転職やブランクからの復帰の準備に役立った。集客面では8050問題に直面している地域包括支援センターと連携し、包括支援センター長会議や個別に包括支援センターを訪問し相談したものの、40歳代対象者が少ない、サポステへの来所が困難などの理由で利用登録につながらなかった。一方、柏市地域生活支援センターや社協等関係機関との連携や重層的支援会議を通じてサポステにつながりやすい体制はできている。

千葉県と柏市は県内8サポステの活動を支援する若者自立支援協議会で連携しており、40歳代支援をテーマにサポステ間の情報交換や研修を行っている。一方、近隣市を含め社会福祉協議会や障害福祉サービス事業所と連携し、サポステでの就労支援が難しいケースをリファーしている。個別事例を共有することで広域のネットワークが構築しやすくなった。また、ハローワーク松戸、東葛地区の自治体、サポステの協働プロジェクトとして年3回の合同企業面談会を実施した。

令和7年度以降の課題として、新規登録者については連携している職業訓練校でのPR、氷河期対象のセミナーの周知広報と集客方法を見直すなど方策を講じる。第1ステージでの取り組みの結果もあり、40歳代の未就労者が就労まで遠く健康問題等の解決が先決の層と自ら就職活動可能な層に二極化している。前者については就労支援以前の支援（福祉サービス以外）が必要でサポステの支援対象とはならない。後者については現行事業の中で40歳代のニーズが高い実務的なトレーニングを充実させること、ハローワーク、商工団体、地元企業と協働してマッチングイベントを企画することなど、サポステのターゲットを明確にして新規利用者層にアプローチしていく必要がある。

第2ステージ終了後（令和7年度以降）の就職氷河期世代の支援として、現状未定ではあるが、一部事業を縮小もしくは活用可能なものがあれば他国庫補助金等の活用等を検討予定。

(5) 流山市実施事業

【事業名】 就職個別相談「就職氷河期世代支援コース」事業

【事業概要】 専門キャリアカウンセラー1名を流山地域職業相談室に配置し、正規雇用を目指す就職氷河期世代に対し、個別相談、職業適性検査、パソコンスキルアップ講座、メンタルサポート、就職後のフォローアップを実施する。

【KPIの達成状況】

指標名		令和2年度 増加分	令和3年度 増加分	令和4年度 増加分	令和2～4年度の 増加分累計	令和5年度 増加分
KPI①：対象の就職率 (%)	目標	(※令和3年度 から事業実施)	30	30	30	
	実績	—	56.6	67.3	62.0	
KPI②：対象の正規雇用 率 (%)	目標	—	30	30	30	
	実績	—	33.3	33.3	33.3	
KPI③：対象の相談者数 (人)	目標	—	30	30	60	
	実績	—	53	49	102	
KPI④：就業者数(人)	目標					35
	実績					19
KPI⑤：正規雇用者数 (人)	目標					15
	実績					11
KPI⑥：相談者数(人)	目標					55
	実績					60

【目標値と実績に乖離※がある場合の主な理由（令和5年度）】

(※目標未達成又は実績が目標を5割以上上回った場合)

- ・(KPI④) 企業において、物価高騰によるコスト増への対応に加え、政府からのインフレ率を超える賃上げ要請を受けており採用者数が伸び悩んだため。
- ・(KPI⑤) 企業において、物価高騰によるコスト増への対応に加え、政府からのインフレ率を超える賃上げ要請を受けており採用者数が伸び悩んだため。

【事業の実施状況及びその成果等及び第2ステージ終了後（令和7年度以降）の展望】

- ・心理カウンセラー及びキャリアコンサルタントの資格を有したキャリアカウンセラーを配置し、メンタルサポートを強化した個別相談を実施（相談者数：60名、就業者数：19名、正規雇用者数：11名）
- ・パソコンスキルアップ講座の実施（回数：16回、参加者：20名）
- ・就職支援セミナー【市負担事業】の実施（実施回数：4回、参加者：延べ105名）

本事業を利用し就職した相談者からの就職報告において、カウンセラーの寄り添った対応への謝意が含まれたものが多くあった。

KPIは、相談者数が目標値を上回った一方、就業者数が目標を下回る結果となった。

氷河期世代の求職者は、就労による経験やスキルが乏しく対人関係に課題がある方が多い傾向にある一方、求人企業は即戦力となる資格や経験を有する方の採用を求めため、双方のギャップがあり採用に結びつきづらい。また、企業においては、物価高騰によるコスト増への対応に加え、政府からのインフレ率を超える賃上げ要請を受けており、新たな人材確保を進めるにあたっての課題に直面している状況にある。こうしたことがKPIの結果の背景にあることが、就職面談会等のイベントに参加する事業者との対話から感じている。

少子高齢化が進展し生産年齢人口の減少、2024年問題等労働力不足の問題が顕在化しつつあることから企業が採用者数を増やし、今後本事業においても就業者数が改善すると思料するため、令和6年度も前年度と同様の支援を継続する。

なお、第2ステージ終了後（令和7年度以降）は、市の単独事業で実施する個別相談に合流し、氷河期世代を含めた求職者の就職支援を継続する予定。